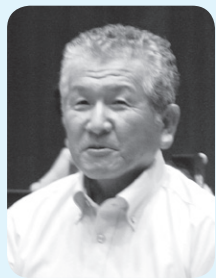


東 久延 議員

(一問一答方式)



- ①長浜港内港埋立事業基本計画
- ②地域自治組織再編
- ③大雨時等における道路排水の改善と土砂の撤去

長浜港内港埋立事業基本計画について

問 この基本計画策定の目標は何か。また、内港埋立事業が完了した後にどのような効果をもたらすと考えるか。

答 地域住民の利便性の向上や観光客等を含めた交流人口の増加により、地域内での消費拡大による地域経済の活性化や雇用の創出、地域の持続的な振興を目標に定めています。その達成に向けて、まずは地域住民に着目した人口の維持・増加と、観光客等に着目した交流促進の2つの視点を設定し、住環境の向上、雇用の創出、安全性の向上、魅力の向上の4つの方向性により、長浜地域の活性化に資する取組を構築していきます。

また、埋立事業完了後の効果として、基本構想案で導入を検討している道の駅や多目的広場などのスポーツレクリエーション施設を整備することにより、交流人口の増加が見込まれるほか、公共施設等の整備や道路改良などにより地域住民の生活環境の向上と安全性を高めることで、空き店舗を活用した新たな創業や空き家を活用した市外や市内周辺部からの居住人口の増加につながるものと考えています。

地域自治組織再編について

問 地域自治組織再編に向け、各自治会への説明が行われているが、その説明会での意見や要望等によって、再編方針を変更または追加した事項があるか。また、関係部署等との協議や今後検討が必要となるようなことはなかったか。

答 地域自治組織の再編では、令和3年7月に検討会議を立ち上げ、令和5年2月に検討会議としての最終的な方向性を取りまとめた後、5月から順次33地区の役員の皆様に説明をしています。

この説明会では、それぞれの地区にとってふさわしい組織運営体制が築けるよう、関係者と個別に協議を行っており、説明会に出席された方からは様々な意見、要望等を伺っています。

その主な項目として、事務室、備品、インターネット等の整備や、耐震のある施設への移転など環境に関するもの、基準となる配置職員数、あるいはセンター職員の募集、応募といった人材に関することまで様々あり、中には、窓口サービスの代替手段など、関係部署間での協議・検討が必要な項目もありましたが、再編方針案の基本的な部分や方向性は、地区の総意として各地区ともにおおむね理解をいただいているものと認識しています。

地区説明会で伺った意見、要望等を取りまとめましたら、改めて自治会長、公民館長、分館長に対し、要望等への回答と併せて最終的な再編方針を説明したいと考えています。

道路排水の改善について

問 大雨のたびに土砂や枯れ葉、落ち葉が集水桝などに堆積し、雨水の排水ができず路肩が崩壊する災害を引き起こしている。集水桝の規格やヒューム管の径を大きくするなどの対策は図れないか。

答 集水桝やヒューム管を大きくすることは有効であると考えており、管径の小さいヒューム管が確認された場合には、ヒューム管の排水能力、近隣家屋等への影響を勘案し対応しています。近年整備された集水桝やヒューム管は、集水流域を設定し、流量計算を行ったうえで、処理能力に適した施設を整備していることから、基本的には問題ないものと考えています。

しかしながら、土砂等が堆積することは雨水を集水する施設として避けられず、その堆積物や土砂の撤去など、日常の維持管理は大変重要であることから、今後も引き続きパトロールなどを実施し、早期発見に努め、適正な維持管理を行うことにより、事前防災に努めます。